

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news



第2回 島田療育センターはちおうじ セミナー

去る11月30日（土）に第2回島田療育センターはちおうじセミナーが開催されました。今回は、講師に長崎大学准教授の岩永竜一郎先生、明星大学准教授の小貫悟先生をお招きし、『発達障害の療育を考える～「感覚統合」と「スキルトレーニング」の視点から～』というテーマのもと、講義、シンポジウムが行われました。参加者は約250名と当初の予想よりも多くの方にご参加いただきました。また、PT、OT、STといったリハビリ職の方、教員の先生方、施設職員の方、保護者の方など、様々な立場の方が参加されました。

岩永先生からは、作業療法士の視点から自閉症スペクトラム障害（ASD）のあるお子さんへのアプローチについてお話をいただきました。特に、ASDのある方の80～90%に感覚の問題があり、目に見える問題だけでなく、感覚面など目に見えない、本人が実は困っている問題に気付いて、支援していくことが重要だということを皆様が理解できたのではないかと思います。

小貫先生からは、発達障害のある方々への生涯を通じたスキルトレーニングの重要性について、いかにご本人の社会参加、活動への参加を支えるかという視点でお話いただきました。その中で重要なのは「折り合う能力」だという話にはみなさんが納得していたと思います。

後半は当センター所長の小沢浩医師を交えて、シンポジウム形式で進めました。会場の皆様の質問に答えつつ、講師の先生のお考えをお話いただきました。具体的な事例の相談から、発達障害のあるお子さんへ関わる際のポイントや、集団の中でどのように発達を促していけるのか、どこまでみんなと一緒にし、どこを配慮していくべきなのかといったことについて、ご意見をうかがうことができました。

今回のセミナーは、その子の持っている能力を理解して伸ばす関わりと、その子が持っていない部分を補う関わりという、一見対極にあるような2つのアプローチ法から、療育を考えるという趣旨で行いました。小貫先生がまとめてくださっていましたが、どちらのアプローチも現状を理解して、いかに様々な活動に参加できるように支援していくかがポイントであり、目指すところは一緒ではないかと思います。

また今回は様々な立場の方が参加できるセミナーであり、新しい挑戦でもありました。アンケートを見ると、3人の先生方の素晴らしい話で、多くの方にご満足いただけたのではないかと思います。立場に関わらず多くの方が、子どもたちの将来を考え、思いを共有する機会を持つことの大事さが実感できる時間でした。

（リハビリテーション科心理士 神田 聡）

通所

ハロウィンパレード

最近になり日本でもハロウィンの仮装やイベントが流行っていますが、流行に乗り遅れないように、10月31日のハロウィンの日に通所利用者様とスタッフが仮装をしてセンター内をパレードしました。皆さん、それぞれでカラービニールや厚紙、ガムテープなどで衣装を制作しました。ドレスのような仮装や王子様、魔女…と皆さんとてもカラフルで素敵な衣装に仕上がりに、パレード中も見てくださっている皆さんから「かわいい」や「素敵！」等の温かい言葉を頂きました。

今年は通所の利用者様とスタッフが仮装しましたが、来年はぜひ外来を利用される皆様やスタッフも仮装しませんか？



(通所科 大谷 聖信)

東京ディズニーランド

昨年、全体行事として初めて行った東京ディズニーランド。毎年行きたいとの声も強く、今年からは小グループ外出として利用者3名（+ご家族）で行ってきました。ところが、当日は朝から怪しい雲行きで、到着した頃には傘やレインコートが欲しい生憎の空模様でした。休憩を兼ね救護室で雨宿りして出て来ると、みんなの普段の行いが良かったためかすっかり雨も上がっていて、お蔭でその後は予定通り一日ハロウィン・ムードを味わいながらパレードやアトラクションを楽しむことが出来ました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうもので、気が付くともう帰りの時間でした。最後に慌たたくお土産を買って出口に向かうとキャラクターたちが待っていてくれて、キャラクターたちとの記念写真も撮れました。出口を出るのが勿体なく後ろ髪を引かれながら帰路に就きました。



(通所科 箱崎 一隆)

韓国研修を終えて

平成25年10月22日～26日まで、木実谷院長をはじめ職員13名、関係者1名の14名が研修に参加しました（島田療育センターはちおうじからは理学療法士の甲斐と介護福祉士の瀧島が参加しました）。

研修先として、今年度も慈恵学校、ソウル大学子ども病院、ヨンナク・エニアの家、ソウル市障害者総合福祉会館、橋南学校希望の家、橋南農業施設を訪問しました。

どの施設でも友好的に歓迎され、私たちの質問には丁寧に答えてくださいました。また、施設はどれも整理整頓され、装飾の工夫が素晴らしいことにとても感動しました。

訪問先で特に印象に残ったのは「ヨンナク・エニアの家」で使っている車いすや座位保持椅子・歩行器などがほとんど日本製で、改めて日本製の生活用品の良さを実感しました。

今回の研修では、院長や現地通訳の高（こう）さんなど多くの方のご尽力があって、ソウル市立子供病院を訪問することができました。重度の障害があり医



ソウル市立子供病院

療的ケアの必要な子どもさんが入院されている病院でした。子ども病院ではありませんが、18歳以上の方も入院されていました。院内には介護士や保育士はおらず、入院治療が中心の空間であるため、座位保持椅子や車いすなどの生活用品はほとんどありませんでした。「超重症児の子どもさんへの理学療法の介入は？」との質問には「対象にならない」と回答があり、改めて『療育』という概念のある日本の重心療育の歴史・文化や島田療育センターの良いところを認識することができました。

日本の良さを再確認する一方で、訪問先のどの施設も運営資金を確保するために、行政や一般企業へのプレゼンをあたりまえとして「成果」や「施設のウリ」をしっかりとアピールしている事、職員一人ひとりが施設の理念をしっかりと自覚して、熱意と誇りを持って仕事をしていることが感じられる事に対しては見習う点があると思いました。

韓国の人々の『奉仕の精神』と『人に対する熱い思い』を感じる研修でした。



(リハビリテーション科科長 甲斐 智子)

職員向け勉強会

10月18日（金）、島田療育センター有松眞木療育部顧問の講演会『重症児者のケアについて』が行われました。島田療育センターで歩まれた25年間、その歩みを振り返り、療育への思いをお話しして頂きました。時代の変化とともに歩み続ける島田療育センターの歴史、そこにある療育について、有松顧問の視点で教えて頂き、とても心に残るお話でした。そこで感じたのは、いつの時代も今も変わらずに受け継がれてきた小林提樹先生の療育観でした。痛みや苦しみがなく気持ちよく生きて頂くことが基本にあり、さらに楽しく生きて頂けるように様々な職種の職員が協力しながら、その方の生活を豊かにするための力を大事にされ続けていることを教えて頂きました。有松顧問の療育への思いは、皆の心に刻まれ、引き継がれていくことになることと思います。



また、講演後の食事会では、有松顧問に一言ということ、職種を超えて多くの職員から“涙・涙のメッセージ”…感謝の意が述べられ、改めて有松顧問の素晴らしいお人柄、偉大さを感じられました。

（福祉相談科 高寿 瑞貴）

障がい体験ルーム 「ドリームルーム」開設

10月11日（金）に島田療育センターはちおうじの通所2階に障がい体験ルーム「ドリームルーム」を開設しました。ドリームルームは、障がいを持たない子どもたちが、障がいを持つ子どもたちのニーズを少しでも認識して理解を深めていこうということを目的にしています。



ドリームルームの備品類は島田療育センター後援会からの寄付金で購入することができました。開設日には元後援会の方々が見学に来てくださいました（写真）。重症心身障害者通所利用者の方との交流も合わせて、このドリームルームを夢と未来を担う子どもたちへの啓発活動の場にしていきたいと思っています。

（通所科 大谷 聖信）

職場紹介

医療検査室 ～放射線～ って どんなところ？

第7回

放射線検査室って何をされる所だろう。子供たちは、不安を抱えながらお母さん・お父さんと待合室のソファに座って待っています。

準備ができドアを開けて名前を呼ぶとたいいていの子供たちは、痛いからいやだと部屋に入ろうとしません。ここは、痛いことをする所ではないのだよ「写真」を撮るところだよ」となだめるところから始まります。

放射線検査室は、2名の診療放射線技師が交替で曜日を埋めています。

検査装置としては、一般撮影装置が1台あります。

主な検査としては、胸部疾患（マイコプラズマ肺炎有無）、腹部疾患（腹痛・腹水の有無・胃管チューブの確認・子どものおもちゃの誤飲）、整形疾患（骨折・骨の成長過程・扁平足の経過観察・補助具作成の一助・骨密度測定）等ですが、

他にも用途があります。

MR I 検査・CT 検査については、他院紹介で検査が行われております。なにしろ高額の為手が出ません。

アフターとしては、1人は、待合室や廊下に掛けてあるトトロのパズル作成、風船での動物作成ですが、来院される子供達の「あ！！トトロだー」と大きな声が廊下中に響いています。ご両親もこれを観て心を和んで頂けるように日々作成に励んでいます。

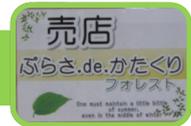
もう一人は、この4月よりマジックを習い始め年末には皆様の前で披露できるように努力しております。

また、放射線の事で何か聞きたいことがあればいつでも気軽にお立ち寄りください。

（医療検査室 診療放射線技師 菊池 進, 高橋 克記）



島はちに売店ができました！



開設当初から利用者様からのご希望がありました売店が、島田療育センターはちおうじ内に開設しました。社会福祉法人由木かたくりの会の「ぶらさ・de・かたくり」（就労継続支援B型事業）さんが就労支援事業の一環として平成25年10月1日から販売を行ってくれています。

クッキーやパン、日用雑貨など利用者様のご意見を取り入れながら少しずつ販売する品数を増やしています。利用者様や職員の



ニーズに合った、「やさしい」お店になっていくことと思います。みなさま、ご利用ください。

(副所長 鮎澤 浩一)



ほ と ひと いき

諏訪の森公園

立川駅南口から徒歩10分程度にあります。

歩いていくと賑やかな駅周辺から、ふっと大きな木がいくつも見えてきます。

傍まで行くと、緑が生い茂った広い公園に出会います。隣は、奉納相撲や獅子舞の有名な諏訪神社です。



公園の中を散策すると、木洩れ日の中、そよ風を感じながら、深呼吸をしてみると静かな気持ちになり、体の中からスッキリしたように感じます。

また公園内にはターザンロープやちょっとした丘の上にある滑り台、水遊び場（夏限定?）もあります。普通の公園にはない遊具があり、小さい子はわくわくすると思います。

立川には有名な大公園もありますが、大きすぎる～という小さいお子さん連れなら、ここでも十分楽しめると思います。

日頃の疲れをふっと忘れて、癒してくれる公園です。機会があれば、行ってみてください。

(リハビリテーション科作業療法士 上田 敏宏)

おしらせ information

南の島がさんにはちほ!



待合に置かれた水槽に子どもたちは大喜び!

島田療育センターはちおうじ 小児診療



各種 予防接種を行っています。

11月19日 12月10日まで行います。

予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。

診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳予	予		
15:00~17:00	●	●	●	○	●		

予... 予防接種 乳... 乳児健診

○木曜午後のみ15:30~17:00の診療となります

*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

